

Interview  
各地区のリーダー

黒磯、西那須野、塩原…それぞれの会場で活躍した成人式実行委員たち。初めはなかなか人が集まらず苦労することがあっても委員をまとめ上げ、式を成功へ導いた各地区の実行委員会のリーダー。彼らに活動への思いを聞いた。

企画が実現した時の充実感が  
たまらない



塩原地区  
分科会会長

みずき  
八木沢 瑞貴 さん  
Mizuki Nagisawa

現在地元にはいないので、打ち合わせの度に帰郷するのは大変でしたが、らくりん座へのアトラクションの出演依頼など、自分たちがやりたいことを企画し、実現した時は大きな充実感をもらえました。今は大学で国際協力について学んでいます。今回、仲間と共に企画の立案、実行という大切な体験ができました。この経験を活かして、今後も地域を盛り上げるさまざまな活動をしたいです。

リーダーシップの  
大切さを痛感



西那須野地区  
分科会会長

こへい  
中里 光平 さん  
Kohji Nakazato

初めて会議に出席した時は、あまりに人が少なく不安でしたが、会議を重ねるにつれて次第に仲間が集まり、その仲間たちが力を発揮し、準備から当日まで活躍してくれました。現在は農業大学校で野菜などの育成の研究をしており、実習の教員になることを目指しています。今回の活動を通じ、リーダーシップをとることの大変さや大切さを学べたことは、大きな収穫です。

今まで経験したことのない  
スケール



黒磯地区  
分科会会長

りょうた  
相馬 良太 さん  
Ryota Souma

地元に残っている自分がやらなければと思い、引き受けました。こんなにも大きな規模の人生の節目の式典に、リーダーとして関わることができたのは貴重な体験でした。現在、大学で電磁力などの勉強をしています。今回、実行委員長をやったことでコミュニケーション力や人との調整力を学ぶことができたので、これらをもっと活かせるようになっていきたいです。



成人式実行委員奮闘記  
～式を支えた立役者たち～

成人式を舞台裏で支えた実行委員たち。そして彼らをまとめ上げた各地区のリーダー。出身校は異なっても彼らの思いはただ一つ、「一生に一度の成人式を、心に残るものにしたい」。思いを現実にするための彼らの奮闘ぶりを紹介する。

晴れの日思い出のロケする  
ために

本市の成人式は、新成人たちが実行委員会を組織して準備などを行っている。実行委員会は、黒磯・西那須野・塩原の地区ごとに組織され、メンバーは中学校卒業時に指名されている。実行委員会は成人式の約4カ月前に招集され、活動を開始。各自の役割を決めた後、式内容の検討に入る。

実行委員の仕事は、式を盛り上げるためのアトラクションや演出の企画、恩師を紹介する資料の作成に加え、式当日の進行など多岐にわたる。市外に住んでいる委員も多く、打ち合わせでもなかなか全員が揃わない中、お互いが協力して準備を進め、晴れの日を迎えた。

開式前は緊張で硬かった表情も、いざ式が始まると一変。みんな堂々と、司会進行や恩師紹介など各自の役割を果たしていた。その時、彼らの表情は、責任を持って大役を果たそうとする大人の顔になっていた。



1～2事前の会議でスライドショーや恩師の紹介文などを打ち合わせる。回を重ねるにつれて、和気あいあいとした雰囲気になっていく 3前日のリハーサル。本番を明日に控えて緊張が高まる中、それぞれが自分の役割を確認していた 4新成人を代表しての「誓いの言葉」。会場全員の視線が彼女に注がれる 5影アナウンス。読み間違いが無いよう、何度も練習を重ねていた 6舞台の配置替えなどは、全員で 7大役を務めあげ、安堵の表情の委員たち



西那須野会場では婦人会から花束が贈られた

本番直前、気合をいれる実行委員たち